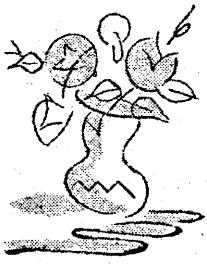


おだより



恆場近況報告

十一期 中村征義

歴研のみなさん、お元気でしようが。学園を離れて早や一年
二ヶ月、最近やつと父兄から「先生」と呼ばれても、気にする

教へん玄とつておられる元輩諸氏の活動状況を掲載してはどうか、という御意見が、新年総会に於て出されました。丁度歴史クラスの教育ゼミに於ても、僻地教育について討議され、僻地の実態教師のファイト、学力の問題、そして結局は政治的問題にまで発展させていかねはならないのではないかというような争が認識されました。それで今回は、鳥羽市の神島小学校でがんばっておられる十一期の中村氏、この春一度会郡の島津小学校に赴任された十二期の杉山さんにお願いして、僻地の実態、苦労話などについて、原稿を寄せていただきました。

こともなく、ハイ、と答えられるようになりました。私にとつて、先生と呼ばれる時ほど、責任を感じる時はありません。

さて、この私、鳥羽市神島町神島小学校に勤めております。神島と言えば三重県下、海の最高僻地として知られておりますが、神島はまだ、三島由起夫の潮騒でも知られています。この

神島、鳥羽中之郷より鳥羽市營巡航船、第十鳥羽丸で約一時半余分で到着致します。上陸すると島の北西部に約二六〇戸の民家が赤、緑の屋根がわらと色とりどりに入りませぬ、はげか、つた山々にひよろ長い松の木が上部の方だけ枝をはりめぐら

し、まるでやしの木がはえているようないかにも異国的な感じをうけます。島面積が0.75平方キロメートルに、人口約千五百人もいるのですから、相当なものです。島に上つてみると鉄筋二階建の町役場、漁業組合をはじめ民家にも数軒鉄筋の家があるので、なんとなく経済状態はそう悪くないなあという感じがします。

学校は民衆の方に建つてあり、海拔六十メートルといふところに七教室の古い建物からなつており、運動場は $28\text{m} \times 40\text{m}$ の小さいものです。児童数は三百四人ですので、非常に少ないという程のものではありません。

私は去年新任早々一年生担任をしましたが一般に島のことども達は生活面においてでたらめな者が多いようですが、神島等は幼稚園もないため、一年生が最初の集団生活ということになつてゐる爲、一年生担任は非常に苦労が多いようです。新任早々の者が一年生担任となつても決して悪くはないとは思ひますが一年間終つてみて、やはりいい例ではないと思ひました。しかし神島のように毎年半数以上の先生（全部で九名）が転出する学校においては、いたしかたないのでしょう。居残の先生が高等学校をもち、学校運営面であまり比重のない退学年へまわされるという結果になる訳です。しかし私の場合、一年担任であつたのですが体育主任という重役につづいて、木永指導・運動会準備などいろいろとしづかしく、まだ責任を感じる時の日々がつたことなど、僻地という所のつづきとやりかいを感じさせうれすにはおれませんでした。

バケンコ屋もなければ映画館もなく、もちろんバーなどある

はずは万りません。この神島で時々名古屋市の教員になつた友人がうらやましくなり、結婚に井の中のかね子とあるのに劣等感を味わつたりする時がありますが、それはそれとして、私は今こんなこと区考えている。即ち自分が存在ということである。自分は今何をしている人物であるかということと自分自身が知りたく、また他人に知つてもうぶうということである。そのためには努力している、そのために何とはなしに生がいを感じて、板きれ一枚落ちて、竹もないという教材のそろわぬ僻地という条件下では素直に言つてまともな授業は非常にやりにくい。また何日か前からの計画がないとうまく授業の出来ない地域ではあるけれど、入向的になりを深めていく上で私はお、いに神島に愛着を感じています。島の恵葉別構成は六割が漁師、三割余が海運業、その他は大工、商店、公務員であるので父親のほとんどは海に出ている。母親は夫と海上に送り出してからわずかな畑を耕したり、穀物をひろいに行つたりしている。したがつて、こども達は一日中両親からはなれて何かをして遊んでいる。だから家庭教育と言えはほとんど零点に近いようなことも達のより集まりが学校へ来ているのですから訝わからずのでだらめなことが多いためである。だから少しでも町のことども達に近いような理想を考えながら、その道に進めて行くには苦労が多い訳です。しかし私自身として非常に嬉しい思つてているのはこども達が非常に人なつっこいという点である。両親からみはなされているこども達にどつて先生ほど良親的な人向はいないわけです。私はこども達をものにするにはこゝだと気がつきました。私の去年一年間の努力は一にも二

にもつとも遊んでやること、このもの生活中にとび込んでいくこととした。結果はあらゆる面で成功した感が強かつたようである。今年は六年生担任です。もう旅行も遠足もすみました。六年生担任はあらゆる面で学校の中心として努力せねばなりません。時には十二期生の新しい先生に対して一年先輩であるといふ一年向の成果も示さねばなりません。今年は益々ファイトを出さねばならぬ年のようにです。十三期生以下のみなさん神島はそれ程悪いところではありません。来年あたり赴任してきませんか。私達九人の先生達と協力しあつて遅れている僻地のことでも遅に何か新しいものと植つける勇気はありませんか。荒浪玄二えて……。（筆者 鳥羽市神島小学校勤務）

X

X

X

十三期 杉 山 久 美 子

教壇に立つてから、早や一ヶ月半経つてしまつた。一日がすぎてしまふのは大変早い様な気がする。今まで自分にとつては、まだまだ教育というものとじつくり考えてみるひまもないほど余裕もなく毎日、夢中で勤めてきたというのが現状である。それで私の近況でも書かせていただきたい。幸いである。

私が赴任した所は鹿児島県南島町立島津小学校でこの古和の町は主に、真珠貝の養殖（つまり、稚貝から母貝にまで大きくしそれを販売するのである）で生計を立てている漁師町である。山と海にかこまれたこの町のはずれに大きな（この町にとつて

はオオキイ）白い羽をひろげた様な鉄筋の建物が島津小学校である。時には、津波が来れば、この校舎は、唯一の避難所に早いがわリ……。又その反面、熊や、きつねも時々煙に出るそうである。当校の先生は、今年半数が転出され、新校長と新任五人が赴任するという僻地ならでは見られない現象である。職員室は、三・四人の先生を除いては、みんなフリーなので、若さでみなぎっているようだ。

朝は五時頃目ざまし時計がなる前に目がさめてしまう。学生時代は、やり起されるまで、いや、起されたときも起きなかつた自分の年に……やはり気分はつていろいろがりだらうが、六時半には、真珠貝の世話をに行く人達が、出発合図と共に海に出かける。（この辺では稚貝から真珠の母貝にまで養殖をして、核は入れずにそのまま販売するのである）。子供達も六時半ころには、もう登校してくる子がちらほら見つけられる。

家はもう戸じまりとされてしまうからだらう、だから第一限目は、ねむそな顔をして、大きなかくびをいくつもしている。そんな時、実情が実情だけに怒るに怒れない。今は、真珠の最盛期なので真珠に出かける方が他の仕事をしているよりもノルマもよく、先生達の食事の用意をしてくれる人手もないほどである。この様に、この町は、父母とも海や浜に出かけるので、子供達は留守番をする。こちらにとつては、その向の子供の遊びや行動が心配である。

次に一週間の学習について述べたいと思う担任は三年生であるが、この学年は一番手のやける子供達が多いので困つてしまふ。週に授業時間二十八時間と五年の家庭科二時間、計三十時

間の授業時間であるが、特に家庭科は担任外だし不馴れのため困つてしまつことがよくある。この学校は、なかなか授業研究もさかんである。「道徳」が研究課題になつてるので毎週指導案を書かねばならない。何しろ、一番むずかしい教科なので

わからぬいま、今日まで過ぎて未だ様な気がする。

又他教科の授業研究会も各先生ごとに二時回ずつ行われるというスケジュールである。市内の学校と異り、父兄と学校とのつながりも、割合強く、地区集会、PTA集会などは夜、おこなわれる。だから一日が終ると、ほっとすると同時に、くだくだになつてしまつ、でも楽しい時もある、例えば静かな海に浮んだ真珠のいがたの向を潮風をうけながら、船を走らす時の気持ちよさ。はじめてクリをした時の楽しさ（まだつれたことはないが……）夕方、子供達と思いきり遊んだ時、思いきり上手？な、迷？名曲をひいたときのすつきりした気持？尋々……。

今までの受身の立場から教える立場に立つてみると一寸のことでも、教えることのむずかしさを痛感する。職員室の額にも「学ぶは教えるの半ばなり」という言葉が書いてあるがよくいつたものだなとつくづく思う。自分としては、早く子供の実態や性質を知ろうと「観察ノート」をつくり、その日にあつた児童の出来事、性質を記録する様にしている。しかしまた／＼わからぬことへ一ぱいである。

この一ヶ月半過ぎでしまつた今日、思つことは、先生というのは、勤務時間があつてないようなもので、ほんとうにえらい仕事だなあと思うと同時に又やりがいのある仕事である。それでまず健康第一、人の和も大事なことだということである。

また教育者としてスタートラインのところでまごしている様な現状で、これから先、石につまずいてこけたり、ラインからそれでいつだりすることがあろうと思うが、自分に出来るかぎり、目標を目さして走りつづけだと思つてゐる。
これから巣立たれるみなさんに、「私達新まい教師がはりきつている」という事を少しでもわかつてもうえ、又来年、さうい年みなさんが、はじめて教壇に立たれだときのはげみになつたら幸いです。（筆者 度会郡島津小学校勤務）